

# 全国社会福祉協議会

## 中央ボランティアセンター運営要綱

### 1 目 的

ボランティア活動の普及と多様化にともない、全国推進機関相互の円滑な運営を図り、調査研究と情報提供、全国あるいは国際的視野に立ってのボランティア活動の開発、相談、あっせんなど、中央段階での機能を強化し、もって社会福祉建設の進展に寄与するものである。

### 2 事業内容

#### (1) 連絡調整事業

- ① ボランティア活動推進機関、団体、受入れ施設団体等の中央団体間  
の連絡調整
- ② ボランティア組織の中央団体間の情報交換

#### (2) 相談あっせん事業

- ① 数県以上にわたる広域的活動に対する相談あっせん
- ② 数県以上にわたる奉仕金品の受入れと配分
- ③ 企業、宗教団体、社会教育団体等が企画するプログラムの相談援助

#### (3) 情報提供事業

- ① 情報収集と各種資料の提供
- ② フィルム・ライブラリーの運営
- ③ 全国規模のPR、キャンペーン事業

#### (4) 調査研究、研修事業

- ① ボランティア研修カリキュラムの研究
- ② 社会福祉施設、団体の受入れプログラムの研究
- ③ ボランティア講師団の編成と派遣

(5) 国際交流事業

- ① 海外情報の収集と提供、相談、その他国際交流

3 センターの組織と運営

- (1) 社会福祉機関、団体、ボランティア関係者、学識経験者、報道関係者、その他関係代表による運営委員会を設け運営にあたる。
- (2) 本センター運営をより充実強化するため広く推進機関、団体関係者、その他により企画連絡会議を設ける。
- (3) 全国社会奉仕活動育成事業連絡協議会との連携を密にする。
- (4) 事務局は全社協地域組織部があたる。

全国社会福祉協議会中央ボランティア・センター

運 営 委 員 名 簿

小 池 欣 一	日本赤十字社 副社長
田 辺 繁 雄	保健福祉広報協会 理事長
近 藤 や え	全国民生委員・児童委員協議会 副会長
田 治 林 太 郎	全国養護施設協議会 会長
末 次 一 郎	日本青年奉仕協会 常務理事
石 川 加 津	東京都日本赤十字奉仕団委員会 委員長
仲 村 優 一	日本社会事業大学 学長
阿 部 志 郎	横須賀キリスト教社会館 々長
小 林 節 夫	朝日新聞論説委員
縫 田 曄 子	前東京都民生局長
翁 久 次 郎	厚生省社会局長
石 野 清 治	厚生省児童家庭局長
太 宰 博 邦	全国社会福祉協議会 副会長
羽 田 恵 助	東京都社会福祉協議会 会長

# あなたも一言 発言して下さい



## ボランティア・婦人のつどい

—全国社会福祉協議会中央ボランティア・センター開設記念集会—

ねらい

社会福祉施策がどんなに充実しても、市民の社会福祉に対する積極的な理解と協力をもとにしたボランティア活動がなければ社会福祉は向上いたしません。

最近の社会福祉問題は、老人、子ども、婦人の日常生活にかかわる問題が増えてきており、地域で、施設で、数多くの婦人ボランティアの協力が期待されております。

残暑のひとときを、婦人のみなさんとともに「婦人と社会福祉」について語りあってみたいと思います。

と き 昭和50年8月25日(月)午後1時30分～4時30分

ところ 久保講堂 千代田区霞ヶ関3-3-4

主 催 全国社会福祉協議会

この集会のお問い合わせは03-581-7851全社協地域組織部宛

●入 場 無 料

# プログラム

## ◎ ボランティア活動体験発表

「私のボランティア活動」

発表者 塚原とよ子、高橋玲子

## ◎ パネル・ディスカッション

テーマ 「婦人と社会福祉」

パネラー 阿部志郎(横須賀キリスト教社会館館長)

縫田曄子(前東京都民生局長)

高野ブレンダ(主婦)

田中里子

(全国地域婦人団体連絡協議会事務局長)

## ◎ 映画 「やさしいライオン」

毎日映画コンクール最優秀動画賞受賞作品

犬がライオンの子どもを乳首その他をかみきられ傷つきながらも育てていく映画です。

## ◎ 展示・即売会

老人のつくった手作り作品を展示し、即売します。

## ◎ ボランティア関係資料展示

ボランティア関係の資料を展示します。

## 全社協 中央ボランティア・センターのご案内

ボランティア活動は、近年多方面にわたって、活発に、着実に展開されております。

点の活動を面につなぎ、全国推進機関相互の円滑な運営をはかるために、センターでは全国あるいは国際的視野に立って、つぎのような事業をおこないます。おおいにご利用下さい。

### ◎ 連絡調整

ボランティア組織、推進機関、受入れ施設など中央団体間の情報交換、連絡調整をおこないます。

### ◎ 相談あっせん

数県以上に広がりをもつ活動、数県以上にわたる奉仕金品の受入れや配分を必要とする活動の相談やあっせんをいたします。

### ◎ 情報提供

活動に必要な器材、フィルムなどをお貸しできます。

また、国内、国外の情報の収集、各種資料を提供します。

◎ ボランティア研修のカリキュラム、受入れ施設、団体のプログラムなどの研究ならびにボランティア講師団の編成、派遣をおこないます。



## ボランティア活動のいろいろ



### ☑市民の中に根をおろしたボランティア活動

東京都小平市では、社会福祉協議会が中心になり、長年、「ボランティア講座」を開催してきました。講座の参加者の80%以上は家庭婦人でした。この講座の積み上げの結果、昭和48年、「小平ボランティア」が発足しました。結成後、個人加入のボランティアを六地区のグループにわけ、地区ごとに世話人も選び自主運営にきりかえました。活動として、①重度障害児施設へのおむつ一枚寄付運動、②遊園地のパトロールと清掃、③ねたきり老人対策のための一円募金、④在宅障害児(者)へのヘルパー活動、⑤盲人施設充実のための古切手収集を行なっています。



## ◆老人と婦人を結ぶ配食サービス◆



大阪市住吉区墨江地区社会福祉協議会では「婦人ボランティア・スクール」を開催したところ、50名の婦人たちが受講しました。婦人たちは受講後、「何か自分たちでできるボランティア活動を実際にやってみたい」という声がおこってきました。そこで墨江地区に隣接した老人ホームを利用し、配食サービスを実施しようということが決まりました。早速、民生委員が地域内のねたきり老人調査を実施し、配食サービスを希望している老人を明きらかにしました。そこで、老人ホーム、墨江地区社協、住吉区社協、大阪市社協で「配食サービス委員会」が組織されました。老人ホームで調理された夕食が、保温食器ランチジャーにつめられ、車で、小学校まで運ばれます。町内から集まってきた婦人たちが、ランチジャーを老人に届けます。そこに老人と婦人の間に心の交流が生まれ、老人たちに喜ばれています。



## ☐ボランティア活動のいろいろ

ねたきり老人の介護

ひとりぐらし老人の訪問

子どもの遊び場づくり

身障児の訪問

社会福祉施設への訪問

老人ホームのおしめたたみ、おしめづくり

愛の一声運動

手話・点訳 など

この他、全国で様々なボランティア活動がやられています

